2026 ClassNK 技術セミナー　プログラム

受付開始　（9:30 予定）

開会挨拶　（10:00～10:10）

規則改正等の解説　（10:10～12:15）

鋼船規則等の改正概要

2026 年に行った規則改正及び今後予定している規則改正のうち主要なものについて，船体，機関，艤装の 3 つの分野に分けてその概要を解説します。

船体関連

- コンテナの積付け及び固縛強度評価
- 統合版 PrimeShip-HULL のご紹介

機関関連

- 往復動内燃機関に関する IACS 統一規則の取入れ
- 往復動内燃機関に関する NOx テクニカルコードの改正

艤装関連

- タンカー以外の新造船における非常曳航設備（ETA）

水先人用移乗設備の新要件について

2028 年 1 月 1 日に発効予定の SOLAS V 章の改正により，パイロットラダー等の定期的な交換が要求されるだけでなく，船の構造・設備に対しても改造が必要となる可能性があります。従来の性能要件から追加・変更された要件を中心に改正内容を紹介します。

昼休憩　（12:15～13:15）

※お申し込みの際に昼食を希望された方には、お弁当をご用意しております。

サイバーセキュリティ　（13:15～14:15）

船舶サイバーレジリエンス要件への対応 – 船主・船舶管理会社に求められる実務 –

IACS UR E26 に基づく船舶のサイバーレジリエンスについて，船主・船舶管理会社に求められる実務対応を解説します。適用対象，船主支給品情報，計画書の作成・承認，運航中の記録管理及び定期検査での確認事項を，最新動向や本会の支援策も交えて紹介します。

ClassNK サイバーセキュリティマネジメントシステムガイドライン改訂版の紹介

サイバーリスク対応が組織のガバナンス要件として求められる中，GNSS（GPSを含む衛星測位システム）に対する妨害等への関心も強まっています。船舶サイバーセキュリティ管理の品質を認証する本会ガイドラインの改訂版について，審査基準や必要なエビデンスの明確化，外部要件との整合性向上等のポイントを紹介します。

休憩　（14:15～14:35）

国際条約等の最新動向　（14:35～15:45）

国際条約等の動向

IMO 海上安全委員会（MSC）及び海洋環境保護委員会（MEPC）の最新の審議結果をもとに，GHG 排出規制，バラスト水管理条約の見直し，MASS（自動運航船）コード等に関する国際的な動向を紹介します。

船舶水中騒音に関する国際規制と技術動向について

船舶から放射される水中騒音は，海洋環境保護の観点から国際的な関心が高まっています。IMO における規制議論の動向と併せて，エネルギー効率向上と騒音低減の両立に向けた技術的な取り組みについて概説します。

閉会挨拶　（15:50 閉会予定）